

令和7年6月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和7年6月号」をお送りいたしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

令和5年に国立工芸館（金沢市）からはじまり、国内外を巡回してきた「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」が、6月28日から8月31日まで、八戸市美術館で開催されます。

北海道・東北エリア初開催となる八戸市美術館からの新作も加わり、ポケモンのすがたやかたち、ゲームのストーリーや世界観を表現した作品、ポケモンが器や着物など日常の道具や装身具になった作品など、約90点の工芸作品を展示します。多種多様な素材が使われ、技法も伝統的な方法から現代の新たな技術までさまざまです。

ポケモンをテーマに、日本を代表する工芸作家たちがその美意識とわざによって表現した世界をお楽しみください。

チケットはオンラインで購入可能です。

▼「ポケモン×工芸展—美とわざの大発見—」についてはこちら

<https://hachinohe-art-museum.jp/exhibition/4019/>

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 03-3261-8973 / FAX 03-3239-6723

E-mail [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

令和7年5月の八戸市内での出来事や  
八戸市に関する情報をお届けします。

# 八戸レポート

6月号

## 【行政】

記事	概要
(1)	八戸市地域おこし協力隊員に委嘱状 八戸ワイン産業創出プロジェクト
(2)	八戸市中心街 AIカメラでデータ観測 通過者1,344人増 空き店舗・空き地率改善
(3)	蕪島物産販売施設「かぶーにや」リニューアルオープン
(4)	児童科学館プラネタリウム リニューアル 美しい星空より鮮明に
(5)	八戸市が「わくわく楽しい」キッズパーク初開催 YSアリーナ八戸

## 【産業】

記事	概要
(6)	お墓総合サポートサービス（八戸）禪源寺に合葬墓 運営開始
(7)	ラッピングトラックお披露目 東北ケミカルが廃食用油回収へ
(8)	八戸水産価値向上実行委員会 都内で試食会 八戸の海産物アピール
(9)	八戸拠点のアパレル会社「Mami」八学短大との共同開発スカーフ発売へ
(10)	八工大で留学生入校式 産官学連携プログラム 特定技能1号取得へ決意

## 【地域】

記事	概要
(11)	マイプロジェクト全国サミット 八戸東高チーム優秀賞 しおかぜイワシパイ共同開発
(12)	エルロン・ウエスト・ビレッジ1周年 八戸駅西地区に活気
(13)	市民集団まちぐみ 中心街の歩道補修 安全確保 にぎわい創出へ
(14)	八戸・小中野 新丁夜店 100年余の歴史に幕
(15)	八戸圏域の地酒を味わう 無形文化遺産登録「祝う会」
(16)	ミチル種差（八戸）グランドオープン 景勝地に新たな観光拠点

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(17)	サッカー元日本代表の李忠成さん 八戸でサッカー教室
(18)	東京デフ陸上代表 女子やり投げ 古川選手（八戸出身）初選出
(19)	八戸うみねこマラソン 潮騒路 爽やかに
(20)	ヴァンラーレ八戸 Jリーグ 社会連携活動で「明治安田 地元の元気賞」初受賞

## 【行政】

記事	
(1)	<p><b>八戸市地域おこし協力隊員に委嘱状 八戸ワイン産業創出プロジェクト</b></p> <p>八戸市は5月1日、「八戸ワイン」による地域活性化を支援する地域おこし協力隊員として、同市出身の秋山行雄さんを任命した。秋山さんは、都内にある航空会社のグループ企業で33年間システム開発・運用、企画などに携わり、55歳で役職定年。以前から地方創生に興味を持っていたことから、市地域おこし協力隊に応募した。同日は市長室で交付式が行われ、秋山さんは「経歴を生かし、ブドウの栽培・製造やプロモーションの中でデジタル技術をどう活用できるかも模索し、挑戦していきたい」と意欲を示した。</p>
(2)	<p><b>八戸市中心街 AIカメラでデータ観測 通過者1,344人増 空き店舗・空き地率改善</b></p> <p>八戸市は5月1日、第4期市中心市街地活性化基本計画（2024年4月～29年3月）のうち、各数値目標指標の推移を公表した。市中心街に設置した3か所4台のAIカメラで地点通過者数を観測。1日平均通過者は、前年比1,344人増の37,695人。はっちや市美術館など5公共施設の来館者数も増加したほか、空き店舗・空き地率も前年の16.0%から15.6%と改善した。指標のうち、まちなか居住者数増加数は減数となったが、計画期間内には旧チーノ跡地の再開発事業によりマンション2棟が完成し、居住促進が期待できる。</p>
(3)	<p><b>蕪島物産販売施設「かぶーにや」リニューアルオープン</b></p> <p>八戸市の蕪島物産販売施設「かぶーにや」が5月1日、リニューアルオープンした。同施設は、4月から同市の水産加工会社「マルヌシ」が新たな運営事業者となり改修を進めてきた。三八地域の食材を中心に使った特産品や土産品、蕪島にちなんだオリジナル商品が充実。カフェスペースでは、「陸奥八仙」の酒かすや地サイダー「三島シトロン」などを使ったジェラートのほか、看板メニューのマダラとナガイモをスティック状に揚げたフィッシュアンドチップスなど、周辺の散策を楽しむ客が持ち運びしやすいような軽食も提供する。客席をゆったり配置し、開放的な眺望も楽しめる。</p>
(4)	<p><b>児童科学館プラネタリウム リニューアル 美しい星空より鮮明に</b></p> <p>施設老朽化に伴い更新工事を進めてきた八戸市視聴覚センター・児童科学館のプラネタリウムが5月2日、リニューアルオープンした。投影機を東北初の最新機種「オルフェウス」に替えることで投影可能な恒星数が従来の約1,300倍に増加したほか、つなぎ目の目立たない高精度ドームスクリーンを導入。臨場感のある映像では種差海岸や葦毛崎展望台など市内6か所の景勝地の全天画像も楽しめる。また、座席や音響設備なども一新し、ヘッドカバーを南部裂織にするなど「八戸らしさ」を感じられる内装にした。今後は大人が仕事帰りに楽しめるようなコンテンツも作る予定。</p>
(5)	<p><b>八戸市が「わくわく楽しい」キッズパーク初開催 YSアリーナ八戸</b></p> <p>八戸市は5月6日、YSアリーナ八戸で初めてキッズパークイベントを開催した。市民にアリーナを身近に感じてもらうとともに、イベント開催実績を重ねながら新規事業の誘致につなげるため、試行的に開催。広々としたアリーナ中地には大型のエアーゲーム4台が置かれ、午前中から順番待ちとなるほどにぎわった。また、ボールを高得点の穴めがけてスティックで打つ「スカットボール」といったニュースポーツのコーナーやシーズン中に活躍する整水機への乗車体験も人気を集め、大型連休の最終日に、子どもたちの楽しげな声がアリーナ中に響き渡った。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p><b>お墓総合サポートサービス（八戸）禪源寺に合葬墓 運営開始</b></p> <p>墓石の整備・清掃や墓参りの代行などを行う八戸市の「お墓総合サポートサービス」（佐々木博一代表）は5月1日から、居住地、宗教、宗派を問わず遺骨を引き受け、一つの墓で供養する合葬墓「つどい」の運営を開始した。佐々木代表は近年、墓じまいに関する相談が多くなっていることを受け、市内でいち早く檀家の墓じまいに対応してきた禪源寺の岡博永住職に相談、協力を得た。墓は禪源寺境内にあり、遺族が負担するのは合葬墓「つどい」の埋葬料55,000円（税込み）のみ。佐々木代表は、「制限をなくし、費用を抑えることで誰もが安心して供養を託せる仕組みをつくりたい」と意義を強調する。</p>
(7)	<p><b>ラッピングトラックお披露目 東北ケミカルが廃食用油回収へ</b></p> <p>青森県立八戸第一養護学校の児童生徒が描いた絵をラッピングしたトラックが5月9日、同校でお披露目された。スーパーなどから廃食用油を回収し、飼料用油脂としてリサイクルする東北ケミカル（八戸市）が、地域への貢献や子どもたちとの協力を目的に同校に絵の制作を依頼。児童生徒15人が「地球にやさしい」をテーマに制作した。トラックは、主に県内のコンビニやスーパー、食堂のある施設などを巡り、SDGs（持続可能な開発目標）の活動をPRする。</p>
(8)	<p><b>八戸水産価値向上実行委員会 都内で試食会 八戸の海産物アピール</b></p> <p>八戸港に水揚げされた魚のブランド化を目指す八戸水産価値向上実行委員会（愛称・シン八戸）は5月14日、東京・内幸町の八戸都市圏交流プラザ「8 base」で、都心の飲食店関係者を招いた試食会を開いた。八戸地域の海産物の認知度向上や都内の飲食店との関係性構築などを目的に、県外で初めて開催。試食では、地元の料理人が店内でサバやトラフグなどを調理した和食とイタリアン計11品を用意。参加者からは品質の高さなどを評価する声が聞かれた。関係者はさらなる認知度アップに向け、事業拡大に取り組む考え。</p>
(9)	<p><b>八戸拠点のアパレル会社「Mami」八学短大との共同開発スカーフ発売へ</b></p> <p>八戸市を拠点とするアパレル会社「Mami」が今夏、八戸学院大短期大学部と共同開発した商品化第1弾となるスカーフ「scarFFit+（スカーフィット）」を発売する。「八戸から世界へ発信する」というビジョンを掲げて昨年5月に開業。市民の花である菊をベースに、種差海岸や花火大会など八戸らしい風景をデザインした4種類のスカーフを作成し、5月16日は、同大で贈呈式が開かれ、商品がお披露目された。8月までに自社通販サイトを開設して販売を始める予定で、今後、空港やアンテナショップなどにも商品を展開したい考え。</p>
(10)	<p><b>八工大で留学生入校式 産官学連携プログラム 特定技能1号取得へ決意</b></p> <p>八戸工業大は5月16日、国内企業で就労できる外国人技術者を育成する産官学連携の取組「外国人特定技能エンジニアプログラム」の前期入校式を行った。プログラムは昨年度から開講。前期はミャンマー人留学生10人が自動車整備と建設の2分野で半年間、日本で活躍するエンジニアとして必要な知識や技術を身に付け、国内企業で最長5年間働く在留資格「特定技能1号」の取得を目指す。地域企業の人手不足解消につなげる狙いもあり、修了後は同市や六ヶ所村などの県内企業で働きながら、永住可能な「特定技能2号」の取得につなげる。</p>

【地域】

記事	概要
(11)	<p><b>マイプロジェクト全国サミット 八戸東高チーム優秀賞 しおかぜイワシパイ共同開発</b></p> <p>高校生が課題探求を発表するイベント「マイプロジェクト全国サミット2024」で、青森県代表として参加した八戸東高のチームが優秀賞を受賞し、5月1日、熊谷市長に受賞を報告した。メンバーは、八戸港の主要魚種ながら知名度の低いイワシに着目し、漁業者や飲食店の収入増につなげようと、階上町の菓子店「ラ・ドゥルセリア美松」と「しおかぜイワシパイ」を共同開発。3月に東京大学で開かれた全国サミットで一連の取組を発表した。活動は今年度後輩たちに引き継がれる予定。</p>
(12)	<p><b>エルロン・ウエスト・ビレッジ 1周年 八戸駅西地区に活気</b></p> <p>八戸駅西地区の複合商業施設「エルロン・ウエスト・ビレッジ」が5月5日、オープンから1周年を迎えた。核である東北最大級のトランポリン棟「バウンシートランポリンパーク」の来場者は1年で4万人を越え、にぎわいを創出してきた。同日はパフォーマンス集団「TEAM EIN」による圧巻のウォールトランポリンの披露など記念イベントが行われた。また、駅西口とフラット八戸を結ぶ「シンボルロード」を歩行者天国とした、地元有志による「八戸フェスティバル」も連動して開催。子ども向けの体験コーナーやキッチンカーも並び、大勢の家族連れでにぎわった。</p>
(13)	<p><b>市民集団まちぐみ 中心街の歩道補修 安全確保 にぎわい創出へ</b></p> <p>八戸市の市民集団「まちぐみ」は5月10日、市中心街の十三日町で国道340号の歩道を補修する「歩道の穴をみんなで埋めよう大作戦」を実施した。これまで地元商店街が歩道を管理する青森県に依頼してきた補修作業を、市民が参加できる形で企画。この日は、大学生やまちぐみ組員、商店街関係者ら20人が参加し、水をかけると固まるアスファルト塗装補修材を使用しメインストリートの歩道のタイルの欠損部分を修復した。欠損が目立つ部分は80か所ほどあるといい、7月18~20日の八戸七夕まつりまでの完了を目指す。</p>
(14)	<p><b>八戸・小中野 新丁夜店 100年余の歴史に幕</b></p> <p>八戸市小中野の新丁通りで毎年7月下旬に開催されてきた夏の風物詩「新丁夜店」が、100年余りの歴史に幕を下ろす。小中野新丁商店会が開催し、歩行者天国の通りに露店が並び、特設ステージでカラオケ大会が行われるなど地域住民に親しまれてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で一時中止。2023年は寄付を受けながら開催したものの、商店会を構成する店舗の減少や高齢化などで24年は休止。再開を目指したが、好転の見通しが立たず開催を断念した。関係者は、主催側の負担を軽くした上で、地域住民らが集まれるイベントの新たな形を模索している。</p>
(15)	<p><b>八戸圏域の地酒を味わう 無形文化遺産登録「祝う会」</b></p> <p>八戸市の地酒研究会はちのへは5月23日、日本の「伝統的酒造り」が昨年12月にユネスコの無形文化遺産に登録されたことを受けて、マチニワで「八戸圏域の日本酒蔵を祝う会」を開いた。地元の八戸酒類、八戸酒造、桃川の酒蔵関係者らが鏡開きで祝福。ヴァンラーレ八戸の選手やマスコットキャラクター「ヴァン太」も駆けつけた。会場では3蔵が計12種類の地酒を提供。同市の靄神社で祈祷した3種類のお神酒も振る舞われた。市内の飲食店など9店舗によるフードの出店もあり、訪れた市民が、好みの日本酒とこだわりの酒肴を堪能した。</p>

	<b>ミチル種差（八戸）グランドオープン 景勝地に新たな観光拠点</b>
(16)	八戸市の景勝地・種差海岸に5月27日、飲食と宿泊を核とする複合施設「ミチル種差」がグランドオープンした。宿泊棟はテラス付き戸建てタイプ3棟で、夏にはバーベキューを楽しむことができ、レストラン棟では雄大な海や天然芝生地を窓越しに眺めながら、青森や岩手の食材を使った洋食を味わえる。また、ジェラートや軽食を販売するテイクアウトコーナーや土産品、伝統工芸品を扱うショップも併設。先行営業したランチやカフェ、テイクアウトはこの日多くの客が利用。周辺の海や天然芝生地を観光中に立ち寄り、ジェラートなどをテイクアウトする人も目立った。

### 【文化・スポーツ】

記事	概要
	<b>サッカー元日本代表の李忠成さん 八戸でサッカー教室</b>
(17)	サッカー元日本代表の李忠成さんによるサッカー教室が5月6日、八戸市プライマーズスタジアムで行われた。2011年のアジアカップ決勝で試合を決めた、自身の代名詞ともなっているボレーシュートについて「上から下へ蹴るようなイメージを持って」と伝えるなど、シュートを重点的に打ち方やこつなどを指導した。その後、参加した小学生約130人は、ミニゲームやシュート対決などで交流を楽しんだ。
	<b>東京デフ陸上代表 女子やり投げ 古川選手（八戸出身）初選出</b>
(18)	日本デフ陸上競技協会は5月15日、東京を中心に11月に開催される聴覚障害者の国際スポーツ大会「デフリンピック」の日本代表内定選手を発表し、女子やり投げに八戸市出身の古川瑛梨奈選手（豊田自動織機）が選ばれた。古川選手は初出場となる。世界選手権で8位入賞し、日本選手権ではそれまでの自己ベストを上回る38m65で2位に入り、初の出場を決めた成長株。自身初の舞台での投げに注目が集まる。東京デフリンピックは、11月15～26日の12日間で実施され、陸上は駒沢オリンピック公園総合運動場などで行われる。
	<b>八戸うみねこマラソン 潮騒路 爽やかに</b>
(19)	第44回八戸うみねこマラソン全国大会が5月18日、館鼻岸壁特設会場を発着点に開かれた。距離や年齢、性別で分かれた23部門に、全国の31都道府県から4,873人がエントリーし、自慢の健脚を競った。この日の八戸の最高気温は24.4度で、海からの強風が吹き付けるコンディションだった。ランナーたちは、風光明媚（めいび）な種差海岸沿いなどを走り抜け、ゴール後は互いに握手やハイタッチを交わし健闘をたたえ合った。
	<b>ヴァンラーレ八戸 Jリーグ 社会連携活動で「明治安田 地元の元気賞」初受賞</b>
(20)	Jリーグがクラブの優れた社会連携活動を表彰する「2025 Jリーグシャレン！アウォーズ」が5月19日、都内で行われ、ヴァンラーレ八戸の取組が初選出された。全国6クラブが選ばれ、ヴァンラーレ八戸は「明治安田 地元の元気賞」を受賞。評価された取組「School Trip Day」は、昨年9月に開催し、ホームタウンの八戸市など8市町の小中学生約1,700人を試合に無料招待とともに、地元企業などと協力して職業体験を提供した。試合観戦以外にも学校だけではできない体験を提供したことや、クラブが学校や企業、行政をつないで地域の元気をつくった点が受賞理由として挙げられた。

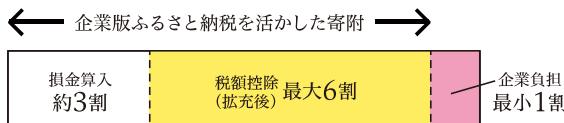
# 企業版ふるさと納税の3つの魅力

## ① 税制上の優遇が受けられる

損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)と合わせて、税額控除(寄附額の最大6割)により、最大で寄附額の約9割が軽減されます。

## ② 社会貢献

SDGsやESGへ寄与できます。



## ③ 自社PR

ご寄附をいただけた企業様を八戸市HPとSNSでご紹介いたしますので、企業様のPRに繋がります。

## 申込み方法

- 電話
- メール
- 二次元バーコード

## 申込み・お問合せ先

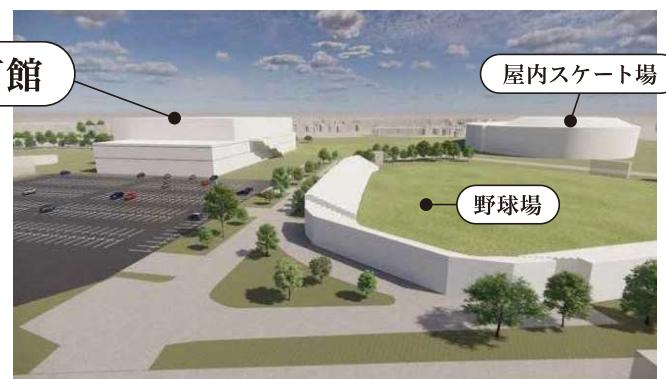
政策推進課  
企業版ふるさと納税担当  
TEL:0178-43-9233  
Email:seisaku@city.hachinohe.aomori.jp



## [ 寄附受付事業 ]

### ●新体育館の建て替え

スポーツやイベントなど、市民の多様な活動の場として、年間約37万人に利用されています。竣工から半世紀以上経過していることや、時代の移り変わりとともに変化する多様なニーズに応えるため、計画的に準備を進めています。



新体育館

屋内スケート場

野球場

### ●八戸市の魅力発信

八戸市のマスコットキャラクター「いかづきんず」や公式SNSなどを活用して、当市の魅力を広く発信しています。

- 魅力を発信することで
- ◎市民の地元に対する愛着や誇りを醸成したい。
  - ◎国内外の人々の当市への関心を高めたい。
  - ◎交流人口や定住人口の創出・拡大につなげたい。



### ●八戸産ぶどうを活用したワイン産業振興

農業振興のみならず、商工業や観光業にも繋がる「ワイン産業」の振興を目指しています。

### ●創業・事業継承の支援拠点運営

創業及び事業継承の支援拠点を設置し、専門家による相談対応やセミナー開催等により、創業希望者等を支援しています。

### ●八戸市ブックスタート事業

八戸市在住の赤ちゃんとその保護者を対象に、おすすめブックリストや絵本をプレゼントしています。

申込み方法

## 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。→ 
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

送付先・お問合せ先

広報統計課 ふるさと寄附金担当  
〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1  
TEL:0178-43-2319  
FAX:0178-47-1485  
Email:furusatotax  
@city.hachinohe.aomori.jp

## インターネット

- 下記5つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス

楽天ふるさと納税



ふるなび

JRE MALL



Amazonふるさと納税



八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っています。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いします。

また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

はちのへ

# ふるさと寄附金のご案内

## 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい！」「八戸が大好き！」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください！



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。（控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。）

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。



## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 大西 伸一郎 [主査] 斎藤 千聖 [事務員] 浜井 章代



八戸市  
Hachinohe City